

県立学校校内LAN保守管理業務委託仕様書

この仕様書は、沖縄県知事 玉城 康裕（以下「甲」という。）が発注する県立学校校内LAN保守管理業務（以下「委託業務」という。）の委託契約書の第2条（委託業務の内容）についての内容等を示す。

1 委託名

県立学校校内LAN保守管理業務委託

2 目的

県立学校 78 校の校内LANの保守及び管理運営の支援を行う。

3 委託期間

令和 8 年 8 月 1 日から令和 11 年 7 月 31 日までとする。

4 役務提供場所等

県立学校 78 校及び沖縄県立総合教育センター，教育DX推進課

(1) 役務提供場所

県立学校 78 校とする。（令和 10 年度まで 77 校。別表のとおり）

令和 9 年度まで〔県立学校 77 校：本島（68 校）、宮古（4 校）、八重山（4 校）、久米島（1 校）〕

※県立高校に併置される県立中学校及び県立高等支援学校は、県立高校と合わせて 1 校とする。

令和 10 年度から〔県立学校 78 校：本島（69 校）、宮古（4 校）、八重山（4 校）、久米島（1 校）〕

(2) リモート接続作業場所

① 沖縄県立総合教育センター（IT教育センター）

② 教育DX推進課（教育庁）那覇市寄宮1丁目2-16 1F

↓
※令和 10 年 12 月まで、以降は県庁舎予定

5 保守管理業務

(1) 主任技術者

次の各号のいずれかに該当する者を主任技術者とすること。

① コンピュータシステム技術者（以下、SEという。）（注）としての経験が5年以上

あり、かつ以下に示す資格かこれに類する資格（民間等の資格）を有するもの（旧区分による取得資格でも可とする）

- ・ システム監査技術者
- ・ ITストラテジスト
- ・ プロジェクトマネージャ
- ・ システムアーキテクト

- ・ ネットワークスペシャリスト
- ・ データベーススペシャリスト
- ・ エンベデッドシステムスペシャリスト
- ・ IT サービスマネージャ
- ・ 応用情報技術者

② S Eとしての経験が10年以上あるもの

(2) 配置人数

専任（必須）の担当者を2名以上、本業務に配置できること

(3) 実務経験

S Eとして、以下の実務経験が要求されるものとする。

- ① ルータ、L3等のスイッチ機器全般、アクセスポイント等のネットワーク機器を利用したネットワーク構築及び運営について実務経験を有すること
- ② Linux、Windows等のOSを利用したサーバ構築及び運営について実務経験を有すること
- ③ ファイアウォール、フィルタリング等のセキュリティ対策、無線ネットワーク構築について実務経験を有すること
- ④ Furuno社製、ネットワーク機器類に関する実務経験を有することが望ましい。

6 委託業務内容等

- ・ 委託業務内容は以下のことを主とし、その他保守管理運営上必要な事項とする。
- ・ 具体的な業務の方法、内容等については、教育DX推進課と協議の上行うものとする。
- ・ 受託者は、以下の業務が行えるよう適切な担当者を役務提供場所へ派遣するものとする。

(1) 定期的な保守点検業務サーバのプログラム更新、動作確認等を行う。

『ネットワーク機器等の保守点検にあたっては、教育DX推進課が庁舎内及び総合教育センターIT教育センターに設置するアクセスポートを利用することも可能とする。利用にあたっては、教育DX推進課校内LAN保守担当者に事前に連絡して日程を調整すること。

なお、詳細な実施方法、内容等は協議の上決定する。』

- ① ネットワーク回線及び機器の保守点検
 - ・ 職員用、生徒用、無線LANネットワークのセグメントの切り分け確認点検
 - ・ 校内ネットワーク回線の点検
- ② 進路相談支援システムサーバについて
 - ・ バックアップデータがとれているかの確認及び支援とその報告
- ③ クライアントPCについて
 - ・ ネットワーク接続の維持（備品などのリース外に対する保守相談、不具合機器の対応）
- ④ 新たな機器（無線LANアクセスポイント、L2、L3スイッチ等）について
 - ・ 機器の増設・交換に伴う設定・接続の維持
 - ・ ネットワークセグメントの追加、それに伴う設定
 - ・ 無線LANアクセスポイントは教育DX推進課の管理下に属するため教育DX推進課と連携し対応する。
 - ・ 新たな機器の設定等に関しては、学校の個別購入分も含める。
（中古品と教室整備品・一括調達品によるものを除く）

- ⑤ センタースイッチ等のアクセスリスト（ACL）を定期的に見直しネットワークセキュリティを強固に保つ（教育D X推進課と要協議）
 - ⑥ その他必要な事項（教育D X推進課と協議の上決定）
- (2) 緊急対応業務
- 緊急な対応業務を行うこととする。
- ネットワーク機器の故障、その他原因の特定できない現象等が発生し、校内L A Nの利用に支障がでた場合、緊急（原則として翌開庁日までに対応）に対応することとする。
- ① 重大なネットワーク機器が故障した場合の対応
 - ・ 取り外し及び取り付け作業を行い、ネットワーク機器等の修理・取替が完了するまでの必要最小限の代替機器の設置及び運用を行う。
 - ・ L 2, L 3 スイッチが故障した場合、新しく機器を調達するまでの対応として代替機を準備すること。
 - ② その他緊急に対応が必要な事項
- (3) 保守管理支援業務
- 特定の学校等で保守管理上、必要な事項が発生した場合に対応する。
- ① ネットワーク機器の故障
 - ② ネットワーク機器の設定等（T V会議システム等の設定、その他）
 - ③ 障害原因調査及び資料提供等
 - ④ 校舎等新增改築に伴う校内L A Nにかかる会議等への参加
 - ⑤ 別事業による納品等の際の他業者との打合わせ等（立ち会い）への参加
- (4) 業務報告及び成果物受託者は、以下の成果物を提出する。また、必要に応じて調整会議を行うものとする。
- ① 作業実績報告書
 - 月ごとにまとめて教育D X推進課へ提出する。
 - ・ 校内L A N障害一覧
 - ・ 作業月報(作業日報の月締め集計)
 - ・ 作業日報
 - ・ 作業日報一覧
 - ・ 現地作業報告書(学校現場での作業状況詳細)
 - ・ 作業件数累積グラフ
 - ② 校内L A N保守点検チェックシート
 - 教育D X推進課とチェックシート内容を検討後、実施し、教育D X推進課へ提出する。
 - ③ 校内L A N構成図について変更があったものは報告、年度末に更新し差し替える。
作成後、教育D X推進課へP D Fにて提出する。
- (5) 校内L A N 障害発生時の連絡体制
- 学校 → 受託業者・教育D X推進課
- （学校に対しては、教育D X推進課が一次切り分けの指導を行う）

(6) 障害受付時間（緊急対応を除く）

教育 DX 推進課の開庁日の 8 時 30 分～17 時 15 分を受付時間とする。

7 その他の事項

委託仕様書に定めのない事項または、この仕様書について疑義が生じた事項については、必要に応じて甲と受託者が協議して定めるものとする。〔契約書第 22 条（契約に定めのない事項） 参照〕